

平国の加工場が
アート作品に



濱田 カノンさん
(平国下)

平国地区にある海産物の加工場「平国丸」へ大平由香理さんに壁画を描いてもらいました。波や不知火海で捕れるエビやイカ、タイなどが全面に描かれ、とてもかわいい加工場になりました。いつも笑顔を見せる優しい大平さんですが、絵を描くときの真剣な姿がかっこよかったです。制作中は毎日一緒に夜ご飯を食べて、楽しい思い出でいっぱいです。



遊んでいる姿が
描かれました



新立 海燕さん
(大泊)

家の下の海で遊んでいたら、幸田千依さんが絵を描きに来ていたので、海と一緒に水切りや絵を描いたりしました。幸田さんの絵を美術館に見に行ったとき、一緒に海で拾ったものが作品になっていたのでおどろきました。「意味を越えて」という作品には僕や姉が描かれてあり、少し恥ずかしかったけどうれしかったです。



絵が描くのが好きで
参加しました



石田 莉依さん
(桜戸)

私がイベントに参加したいと思った理由は、絵を描くことや工作が好きだったからです。白い画用紙に思いつく色で好きな形を描き、どんどん余白を埋めていきました。不思議と色彩のバランスがとれた面白い作品に仕上がってびっくりしました。近くで見たとときと離れて見たときで絵の印象が変わることを学べて、とても良い思い出です。



作品を展示するだけでなく、ワークショップやイベントなどを通して、画家と住民がアートの魅力を分かち合った6年間。参加した住民に思い出を語ってもらいました。

「アーティスト・イン・レジデンスつなぎ」の目的の一つに、住民にアートにふれてもらうことが挙げられます。

画家と住民の交流がきっかけに作品が描かれることもありました。平成28年に滞在した幸田千依さんの作品「意味を超えて」。大泊地区の風景を描いていたとき、近所の新立慧七さん、海燕さん（大泊）と仲良くなり、二人が海岸で遊ぶ姿が描かれています。昨年度は大平由香理さんが平国地区にある加工場に、海をモチーフにした壁画を描き上げました。加工場を所有する濱

田輝久さん・亜美さん（平国下）の漁業にかける思いと大平さんの作品にかける思いが一致し、実現しました。

アートによるまちづくりは、地域と外からの人々との新たなコミュニケーションが生まれることが魅力であるといえます。こうした取り組みに実際に参加し、地域の人々をはじめ、さまざまな人々とふれあうことで、自分にかできない地域との関わり方を発見できるかもしれません。皆さんも、一歩勇気をもって、「アート」の世界に踏み込んでみませんか。

Chapter 3 つながる

アートで人と人の 心が通い合うまちへ

アーティスト・イン・レジデンスつなぎの軌跡 つなぎだヨ！全員集合

- ▶期 間 12月5日土～令和3年2月14日日
- ▶場 所 つなぎ美術館 1階・3階展示室
- ▶観覧料 一般 300円、高・大学生 200円、小・中学生 100円
(町内の小・中学生は無料)
- ▶問い合わせ つなぎ美術館 ☎61-2222

- 関連プログラム 開幕記念座談会
- ▶日 時 12月5日土 午後2時～
- ▶場 所 つなぎ美術館
- ▶ゲスト(敬称略) 幸田 千依・加茂 昂・富田 直樹・大平 由香理・柳沢 秀行(大原美術館学芸統括)
- ▶料 金 観覧料のみ
- ▶定 員 30人(事前申込不要・当日先着順)